

浜の活力再生広域プラン
令和8～12年度
第3期

1 広域水産業再生委員会

組織名	姫島広域水産業再生委員会
代表者名	谷 勇（大分県漁業協同組合姫島地区漁業運営委員長）

広域委員会の 構成員	姫島村地域水産業再生委員会 （大分県漁業協同組合、姫島村、姫島車えび養殖（株）、姫島村商工会等） 大分県
オブザーバー	—

対象となる地 域の範囲及び 漁業の種類	大分県姫島地域118名（延べ285名） 沖建網漁業（33名）、刺網漁業（51名）釣り漁業（77名）、延縄漁業 （6名）、潜水漁業（19名）、ごち網漁業（1名）、たこ壺漁業（14名）、 採藻漁業（80名）、養殖業（4名） （令和7年4月1日現在）
---------------------------	--

2 地域の現状

(1) 地域の水産業を取り巻く現状等

姫島村は、大分県の国東半島の北部沖6kmに位置し、瀬戸内海の伊予灘、周防灘に面した離島である。水産業は姫島村の基幹産業であり、漁船漁業では、主に刺網漁業、釣り漁業、たこつぼ漁業、潜水漁業、採介藻漁業などが営まれている。令和6年度の漁獲量は314トン、漁獲金額は433百万円であり、主に漁獲される魚種は、タチウオ、タコ、クルマエビ、キス、ヒジキ等である。令和6年度の漁業経営体は118戸で小規模経営体が主体である。また、使用する漁船はほとんどが5トン未満クラスのもので、令和6年度の総数は153隻となっている。

近年の燃油価格高騰や漁業資材の高騰による漁業コストの上昇などにより、漁家経営は厳しくなっている。さらに、正組合員の63%が65歳以上と高齢化も進んでいる。

姫島村では、これまで水産資源の維持・増大を図るため、漁場の整備拡大を積極的に行うとともに、「漁業期節定」と呼ばれる独自の指針による資源の管理、種苗の放流、海岸清掃などにも取り組んできたが、依然として漁獲量は減少傾向にある。

一方、姫島車えび養殖株式会社（姫島村が一部出資する第3セクター）が行う令和6年度の養殖クルマエビの生産量は150トン、生産金額は941百万円である。全国有数の産地として知られ、姫島車えびは全国的なブランドとなっているが、疾病対策は未だ確立されていないため、継続的な対策の検討を行う必要がある。

また、共同出荷施設（活魚水槽等）及び加工施設・機器等については、老朽化・故障による機能低下等が課題である。これらの施設・機器の整備・改修を行うことにより、水産物の高鮮度化と加工による付加価値向上を図り、中核的な担い手の確保・育成を行い、さらに販売力を強化するため、県漁協姫島支店への集出荷体制を強化する必要がある。

(2) その他の関連する現状等

漁業者の高齢化に加えて、後継者や新規就業者が減少しており、それに伴い基幹産業である漁業に携わる人口も減少している。

地域の基幹産業であるクルマエビ養殖においては、平成24年度に高い鮮度を保ったまま凍結できるアルコール冷凍機を導入し、新商品「おさしみ用凍眠凍結車えび」の販売を開始した。活き車えびと同等の鮮度を保つことから、利便性を重視する消費者ニーズとも相まって認知度が高まり、販売が好調である。加えて、姫島村が新たな食べ方として推進する「姫島車えびしゃぶしゃぶ」の定着により、さらなる需要増加が見込まれる。

地域の観光では、「おおいた姫島ジオパーク」が2013年に日本ジオパークに認定され、アサギマダラの休息地や姫島の盆踊りが島外から多くの観光客を呼び込んでいる。離島であるため、交通アクセスが課題であるが、観光資源を活用し、海業などを推進して地域活性化を図る必要がある。

3 競争力強化の取組方針

(1) 機能再編・地域活性化に関する基本方針

① 前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題等）

--

② 今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

姫島村の水産業を取り巻く現状は依然厳しいが、第2期の課題を踏まえ、機能再編、競争力強化の取組みの更なる強化を図り、水産業の活性化に資するため、各地区が一体となって以下の5本の柱からなる取組みを実施する。

【1. 資源管理の強化】

資源管理の強化（タチウオ等）、漁港整備について、各地区が一体的な連携のもと、一層取組を推進するとともに、藻場造成にも取り組む。

姫島沿岸域において、改善が必要な地区でアマモ、クロメの増殖を行い漁場環境の改善に取り組む。

姫島沿岸域において、食害生物であるホシエイの駆除を行い、水産資源の保護を図る。

各地区が一体的な連携のもと、姫島地先において藻場の保全活動（岩盤清掃、栄養塩の供給、ウニ・魚類の除去等）を継続し、食害防除対策を強化して、藻場の維持・増大を図る。

【2. 養殖業の振興】

クルマエビ養殖の疾病対策の更なる強化、完全養殖の確立を図るとともに、新規の養殖業に取り組むことで、機能再編・地域活性化を推進する。

（車えび養殖）

車えびの疾病対策を水産研究・教育機構、県水産研究部、県東部振興局等と連携して、耐病性種苗導入の試験等について検討・実施する。

新設した種苗生産施設で餌料のゴカイ養殖を検討するなどの機能強化を図る。

（藻類養殖）

ワカメ、ヒトエグサ（あおさ）養殖を推進するため、漁港等の利用など養殖適地を検討する。

（その他の新規養殖）

新たに試験養殖や先進地視察を行い、市場ニーズに合致した新規養殖業の導入を検討する。

【3. 共同出荷の強化】

共同出荷施設（活魚水槽、製氷施設等）の整備等を行うことで、県漁協姫島支店への集出荷体制を強化するなどの姫島全体での機能再編を推進するとともに、水産物の高鮮度化による付加価値向上・安定供給を図ることで、地域漁業全体の競争力強化を図る。

【4. 加工の推進】

水産加工品の学校給食及び村外出荷等の取組みについて各地区が一体となって取り組むとともに、加工施設の機能強化等を行うことで、加工による付加価値向上、更なるブランド化・販路拡大を図り、競争力強化・地域活性化を推進する。

（加工品）

オール姫島（観光業、加工業、商工会等）で現在の加工品の課題について検討し、「売れる加工品づくり」やブランド化に向けたブラッシュアップ・新商品の開発を行う。

（加工施設の利用）

新商品を開発し、姫島村のふるさと納税に加工品を使うことで、加工品売上額の増加を図る。

【5. 施設の機能強化】

給油施設については、長期使用に伴う老朽化が進んでおり、燃料漏洩リスクの増加や供給効率の低下が懸念される。これらの状況を踏まえ、施設の集約を視野に入れた改修工事を実施し、安全基準の確保と安定的な供給体制の強化を図ることで、地域水産業の持続的運営に寄与する。

漁港については、浮桟橋等の修繕と適切な管理を行い、安全性の確保と漁業活動の円滑化を図る。

(2) 中核的担い手の育成に関する基本方針

① 前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題等）

--

② 今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

<p>各地区が一体になって以下の取り組みを行うことで、新規就業者及び中核的の担い手の確保・育成を推進する。</p> <p>都市部にて開催される漁業就業支援フェアへ参加する（Iターン対策）。</p> <p>新規就業者に対しては、新規漁業就業者確保事業（水産庁）の他、大分県青年就業準備給付金（県）、更に漁業就業者奨励金（村）等を活用することで、新規就業者の確保・育成を推進し、漁業の振興を図る。</p> <p>新規就業者、中核的担い手を育成するため、（1）の取り組みに加え、燃費向上のため減速航行や、省エネ機器及び漁船の導入に対する支援等を行い、収入向上・コスト削減に向けた取組を推進する。</p>
--

(3) 資源管理に係る取組

<p>(公的規制) 大分県漁業調整規則、大分海区漁業調整委員会指示</p> <p>(自主規制) 大分県漁業協同組合姫島支店資源管理計画</p> <p>漁業期節定（県漁協姫島支店 共第8号漁業権行使規約）</p> <p>姫島村広域水産業再生委員会による取り決め（水揚げ時の魚体重制限）</p>

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和8年度）

取組内容	<p>1. 機能再編・地域活性化の取組</p> <p>【1. 資源管理の強化】</p> <ul style="list-style-type: none">・姫島村広域水産業再生委員会は、同様の取組を行う東国東広域水産業再生委員会等の関係機関との連携を図りながら、タチウオ資源管理措置の強化（産卵親魚の保護策）について検討する。・姫島潜水組合は、潜水漁業の作業時間及び期間の見直しについて検討する。・姫島村広域水産業再生委員会は、規定以下のサイズは漁協が取り扱わないこととする重量制限の強化や水揚げ制限対象魚種の追加について検討し、資源管理のあり方を検討するための研修会の開催及び先進地視察を実施する。・姫島村広域水産業再生委員会、大分県漁協姫島支店及び姫島漁業集落は、保護区域（禁漁区を含む）での積極的な種苗放流を実施し、姫島沿岸域においてアマモ、クロメの増殖、食害生物であるホシエイの駆除を行い、漁場の改善を図る。・姫島地区藻場保全活動組織は、姫島地先において藻場の保全活動（岩盤清掃、栄養塩の供給、食害生物（魚類、ウニ類）の除去等）を継続して藻場の維持・増大を図るとともに、姫島村は、新たな藻場造成礁の設置を検討する。 <p>【2. 養殖業の振興】</p>
------	---

	<p>(車えび養殖)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 姫島車えび養殖株式会社は、水産研究・教育機構、県水産研究部、県東部振興局等の指導協力のもと、車えびの疾病対策を検討・実施する。また、ゴカイ養殖の準備を進める。 <p>(藻類養殖)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大分県漁協姫島支店は、ワカメ、ヒトエグサ（あおさ）養殖を推進する。 <p>(その他の新規養殖)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業者は試験養殖を、姫島村広域水産業再生委員会は先進地視察を行い、新規養殖業の導入を検討する。 <p>【3. 共同出荷の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大分県漁協姫島支店は、南浦地区において、新たに共同出荷施設（活魚水槽、製氷施設等）の整備等を行うことを検討する。 <p>【4. 加工の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大分県漁協姫島支店は、観光業者、加工業者、商工会等からの協力を得ながら、加工品の課題について検討し、「売れる加工品づくり」やブランド化に向けたブラッシュアップ・新商品の開発を行う。 ・ 大分県漁協姫島支店は、加工施設を積極的に利用し加工品売上額の増加を図る。また、姫島村は、加工施設及び関連施設の機能強化を行うとともに、ふるさと納税返礼品に新たな水産加工品を加えることを検討する。 <p>【5. 施設の機能強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大分県漁協姫島支店は、北浦地区にある給油施設を将来的に南浦へ集約することを視野に入れて南浦地区での給油施設の改修を検討する。 ・ 北浦漁港の補修工事設計、西浦漁港保全計画の策定を行う。 <p>2. 中核的担い手の育成の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大分県漁協姫島支店、姫島村及び大分県は、都市部にて開催される漁業就業支援フェアへの積極的な参加により、Iターンも含めた新規漁業就業者の確保に努める。 ・ 大分県漁協姫島支店は、長・短期の漁業研修を実施し、新規就業者の漁業への定着を図るとともに、姫島村及び大分県は就業時の着業支援を行う。 ・ 大分県漁協姫島支店は、新規就業者、中核的担い手を育成するため、燃費向上のための減速航行の徹底の指導や、省エネ機器及び漁船の導入に対する支援等を行い、収入向上・コスト削減に向けた取組を推進する。
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン実証事業（広域浜プラン緊急対策事業） 効率的な操業体制の確立支援（広域浜プラン緊急対策事業） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業 水産業競争力強化緊急施設整備事業 水産業競争力強化漁港機能増進事業 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（浜の担い手漁船リース緊急事業） 水産業競争力強化金融支援事業 離島漁業再生支援交付金事業 漁場生産力・水産多面的機能強化対策支援事業 水産基盤整備事業 漁業経営セーフティーネット構築事業 漁業人材育成総合支援事業</p>

2年目（令和9年度）

取組内容	<p>1. 機能再編・地域活性化の取組</p> <p>【1. 資源管理の強化】</p> <ul style="list-style-type: none">・姫島村広域水産業再生委員会は、同様の取組を行う東国東広域水産業再生委員会等の関係機関との連携を図りながら、タチウオ資源管理措置の強化（産卵親魚の保護策）について検討する。・姫島潜水組合は、潜水漁業の操業時間及び期間の見直しについて検討する。・姫島村広域水産業再生委員会は、規定以下のサイズは漁協が取り扱わないこととする重量制限の強化や水揚げ制限対象魚種の追加について検討し、資源管理のあり方を検討するための研修会の開催及び先進地視察を実施する。・姫島村広域水産業再生委員会、大分県漁協姫島支店及び姫島漁業集落は、保護区域（禁漁区を含む）での積極的な種苗放流を実施し、姫島沿岸域においてアマモ、クロメの増殖、食害生物であるホシエイの駆除を行い、漁場の改善を図る。・姫島地区藻場保全活動組織は、姫島地先において藻場の保全活動（岩盤清掃、栄養塩の供給、食害生物（魚類、ウニ類）の除去等）を継続して藻場の維持・増大を図るとともに、姫島村は、新たな藻場造成礁の設置を検討する。 <p>【2. 養殖業の振興】</p> <p>（車えび養殖）</p> <ul style="list-style-type: none">・姫島車えび養殖株式会社は、引き続き、水産研究・教育機構、県水産研究部、県東部振興局等の指導協力のもと、車えびの疾病対策を検討・実施する。また、試験研究機関や県の指導を受けてゴカイ養殖を実施する。 <p>（藻類養殖）</p> <ul style="list-style-type: none">・大分県漁協姫島支店は、引き続き、ワカメ、ヒトエグサ（あおさ）養殖を推進する。 <p>（その他の新規養殖）</p> <ul style="list-style-type: none">・引き続き、漁業者は試験養殖を、姫島村広域水産業再生委員会は先進地視察を行い、新規養殖業の導入を検討する。 <p>【3. 共同出荷の強化】</p> <p>大分県漁協姫島支店は、南浦地区における共同出荷施設（活魚水槽、製氷施設等）の整備を行い漁協の共同出荷体制の強化を図る。</p> <p>【4. 加工の推進】</p> <ul style="list-style-type: none">・大分県漁協姫島支店は、引き続き、観光業者、加工業者、商工会等からの協力を得ながら、加工品の課題について検討し、「売れる加工品づくり」やブランド化に向けたブラッシュアップ・新商品の開発を行う。・大分県漁協姫島支店は、加工施設を積極的に利用し加工品売上額の増加を図る。また、姫島村は加工施設及び関連施設の機能強化を行うとともに、ふるさと納税返礼品に新たに水産加工品を加える。 <p>【5. 施設の機能強化】</p> <ul style="list-style-type: none">・大分県漁協姫島支店は、引き続き集約を視野に入れた南浦地区の給油施設の改修を検討・実施する。・北浦漁港で補修工事の実施、西浦漁港の補修工事設計を行う。 <p>2. 中核的担い手の育成の取組</p> <ul style="list-style-type: none">・大分県漁協姫島支店及び姫島村は、引き続き、都市部にて開催される漁業就業支援フェアに積極的に参加し、動画を活用して、Iターンも含めた新規漁業就業者の確保に努める。・大分県漁協姫島支店は、引き続き、長・短期の漁業研修を実施し、新規就業者の漁業への定着を図るとともに、姫島村及び大分県は就業時の着業支援を行う。・大分県漁協姫島支店は、引き続き、新規就業者、中核的担い手を育成するた
------	--

	め、燃費向上のため減速航行や、省エネ機器及び漁船の導入に対する支援等を行い、収入向上・コスト削減に向けた取組を推進する。
活用する支援措置等	広域浜プラン実証事業（広域浜プラン緊急対策事業） 効率的な操業体制の確立支援（広域浜プラン緊急対策事業） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業 水産業競争力強化緊急施設整備事業 水産業競争力強化漁港機能増進事業 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（浜の担い手漁船リース緊急事業） 水産業競争力強化金融支援事業 離島漁業再生支援交付金事業 漁場生産力・水産多面的機能強化対策支援事業 水産基盤整備事業 漁業経営セーフティネット構築事業 漁業人材育成総合支援事業

3年目（令和10年度）

取組内容	<p>1. 機能再編・地域活性化の取組</p> <p>【1. 資源管理の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 姫島村広域水産業再生委員会は、同様の取組を行う東国東広域水産業再生委員会等の関係機関との連携を図りながら、タチウオ資源管理措置の強化（産卵親魚の保護策）について検討する。 ・ 姫島潜水組合は、潜水漁業の操業時間及び期間の見直しについて検討する。 ・ 姫島村広域水産業再生委員会は、規定以下のサイズは漁協が取り扱わないこととする重量制限の強化や水揚げ制限対象魚種の追加について検討し、資源管理のあり方を検討するための研修会の開催及び先進地視察を実施する。 ・ 姫島村広域水産業再生委員会、大分県漁協姫島支店及び姫島漁業集落は、保護区域（禁漁区を含む）での積極的な種苗放流を実施し、姫島沿岸域においてアマモ、クロメの増殖、食害生物であるホシエイの駆除を行い、漁場の改善を図る。 ・ 姫島地区藻場保全活動組織は、姫島地先において藻場の保全活動（岩盤清掃、栄養塩の供給、食害生物（魚類、ウニ類）の除去等）を継続して藻場の維持・増大を図るとともに、姫島村は、新たな藻場造成礁の設置を検討する。 <p>【2. 養殖業の振興】</p> <p>（車えび養殖）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 姫島車えび養殖株式会社は、引き続き、水産研究・教育機構、県水産研究部、県東部振興局等の指導協力のもと、車えびの疾病対策を検討・実施する。引き続き、ゴカイ養殖を実施する。 <p>（藻類養殖）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大分県漁協姫島支店は、引き続き、ワカメ、ヒトエグサ（あおさ）養殖を推進する。 <p>（その他の新規養殖）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、漁業者は試験養殖を、姫島村広域水産業再生委員会は先進地視察を行い、新規養殖業の導入を検討する。 <p>【3. 共同出荷の強化】</p> <p>大分県漁協姫島支店は、南浦地区における共同出荷施設（活魚水槽、製氷施設等）の整備を行い漁協の共同出荷体制の強化を図る。</p> <p>【4. 加工の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大分県漁協姫島支店は、引き続き、観光業者、加工業者、商工会等からの協力を得ながら、加工品の課題について検討し、「売れる加工品づくり」やブランド化に向けたブラッシュアップ・新商品の開発を行う。 ・ 大分県漁協姫島支店は、加工施設を積極的に利用し加工品売上額の増加を図
------	---

	<p>る。また、姫島村は加工施設及び関連施設の機能強化を行うとともに、ふるさと納税返礼品で使用する新たな水産物加工品の開発に努める。</p> <p>【5. 施設の機能強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県漁協姫島支店は、引き続き集約を視野に入れた南浦地区の給油施設の改修を実施する。 ・北浦漁港、西浦漁港で補修工事を実施する。 <p>2. 中核的担い手の育成の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県漁協姫島支店及び姫島村は、引き続き、都市部にて開催される漁業就業支援フェアに積極的に参加し、動画も活用して、Iターンも含めた新規漁業就業者の確保に努める。 ・大分県漁協姫島支店は、引き続き、長・短期の漁業研修を実施し、新規就業者の漁業への定着を図るとともに、姫島村及び大分県は就業時の着業支援を行う。 ・大分県漁協姫島支店は、引き続き、新規就業者、中核的担い手を育成するため、燃費向上のため減速航行や、省エネ機器及び漁船の導入に対する支援等を行い、収入向上・コスト削減に向けた取組を推進する。
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン実証事業（広域浜プラン緊急対策事業） 効率的な操業体制の確立支援（広域浜プラン緊急対策事業） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業 水産業競争力強化緊急施設整備事業 水産業競争力強化漁港機能増進事業 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（浜の担い手漁船リース緊急事業） 水産業競争力強化金融支援事業 離島漁業再生支援交付金事業 漁場生産力・水産多面的機能強化対策支援事業 水産基盤整備事業 漁業経営セーフティーネット構築事業 漁業人材育成総合支援事業</p>

4年目（令和11年度）

取組内容	<p>1. 機能再編・地域活性化の取組</p> <p>【1. 資源管理の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫島村広域水産業再生委員会は、同様の取組を行う東国東広域水産業再生委員会等の関係機関との連携を図りながら、タチウオ資源管理措置の強化（産卵親魚の保護策）について検討する。 ・姫島潜水組合は、潜水漁業の作業時間及び期間の見直しについて検討する。 ・姫島村広域水産業再生委員会は、規定以下のサイズは漁協が取り扱わないこととする重量制限の強化や水揚げ制限対象魚種の追加について検討し、資源管理のあり方を検討するための研修会の開催及び先進地視察を実施する。 ・姫島村広域水産業再生委員会、大分県漁協姫島支店及び姫島漁業集落は、保護区域（禁漁区を含む）での積極的な種苗放流を実施し、姫島沿岸域においてアマモ。クロメの増殖、食害生物であるホシエイの駆除を行い、漁場の改善を図る。 ・姫島村藻場保全活動組織は、姫島地先において藻場の保全活動（岩盤清掃、栄養塩の供給、食害生物（魚類、ウニ類）の除去等）を継続して藻場の維持・増大を図るとともに、姫島村は、新たな藻場造成礁の設置を検討する。 <p>【2. 養殖業の振興】</p> <p>（車えび養殖）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫島車えび養殖株式会社は、引き続き、水産研究・教育機構、県水産研究部、県東部振興局等の指導協力のもと、車えびの疾病対策を検討・実施する。
------	---

	<p>引き続き、ゴカイ養殖を実施する。 (藻類養殖)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大分県漁協姫島支店は、引き続き、ワカメ、ヒトエグサ（あおさ）養殖を推進する。 <p>(その他の新規養殖)</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、漁業者は試験養殖を、姫島村広域水産業再生委員会は先進地視察を行い、新規養殖業の導入を検討する。併せて、大分県漁協姫島支店は、必要に応じて、区画漁業権の設定に向けて関係者と協議する。 <p>【3. 共同出荷の強化】 大分県漁協姫島支店は、南浦地区における新たに整備された共同出荷施設（活魚水槽、製氷施設等）において水産物の高鮮度化を図り、販売力を強化し、漁協の共同出荷体制の強化を図る。</p> <p>【4. 加工の推進】 大分県漁協姫島支店は、引き続き、観光業者、加工業者、商工会等からの協力を得ながら、新商品の開発を行う。 大分県漁協姫島支店は、加工施設を積極的に利用し加工品売上額の増加を図る。また、姫島村は加工施設及び関連施設の機能強化を行うとともにふるさと納税返礼品に新たに開発した水産加工品を加える。</p> <p>【5. 施設の機能強化】 大分県漁協姫島支店は、南浦地区の給油施設の改修を終え、安全基準の確保と安定的な供給体制の強化を図る。 北浦漁港、西浦漁港で補修工事を実施する。</p> <p>2. 中核的担い手の育成の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 大分県漁協姫島支店及び姫島村は、引き続き、都市部にて開催される漁業就業支援フェアに積極的に参加し、動画も活用して、Iターンも含めた新規漁業就業者の確保に努める。 大分県漁協姫島支店は、引き続き、長・短期の漁業研修を実施し、新規就業者の漁業への定着を図るとともに、姫島村及び大分県は就業時の着業支援を行う。 大分県漁協姫島支店は、引き続き、新規就業者、中核的担い手を育成するため、燃費向上のため減速航行や、省エネ機器及び漁船の導入に対する支援等を行い、収入向上・コスト削減に向けた取組を推進する。
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン実証事業（広域浜プラン緊急対策事業） 効率的な操業体制の確立支援（広域浜プラン緊急対策事業） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業 水産業競争力強化緊急施設整備事業 水産業競争力強化漁港機能増進事業 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（浜の担い手漁船リース緊急事業） 水産業競争力強化金融支援事業 離島漁業再生支援交付金事業 漁場生産力・水産多面的機能強化対策支援事業 水産基盤整備事業 漁業経営セーフティネット構築事業 漁業人材育成総合支援事業</p>

5年目（令和12年度）

取組内容	<p>1. 機能再編・地域活性化の取組</p> <p>【1. 資源管理の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 姫島村広域水産業再生委員会は、東国東広域水産業再生委員会等の関係機関との連携を図りながら、最終年度を目処に新たなタチウオ資源管理措置（産卵親
------	---

魚の保護策等)について、これまでの検討結果等も踏まえ、漁業関係者間の合意を形成する。

- ・姫島潜水組合は、これまでの検討結果等も踏まえ、潜水漁業の操業時間及び期間を見直す。

- ・姫島村広域水産業再生委員会は、規定以下のサイズは漁協が取り扱わないこととする重量制限の強化や水揚げ制限対象魚種の追加について、資源管理のあり方を検討するための研修会の開催及び先進地視察を実施し、これらの結果を踏まえ、具体的な対策を実行する。

- ・姫島村広域水産業再生委員会、大分県漁協姫島支店及び姫島漁業集落は、保護区域(禁漁区を含む)での積極的な種苗放流を実施し、姫島沿岸域においてアマモ、クロメの増殖、食害生物であるホシエイの駆除を行い、漁場の改善を図る。

- ・姫島村藻場保全活動組織は、姫島地先において藻場の保全活動(岩盤清掃、栄養塩の供給、食害生物(魚類、ウニ類)の除去等)を継続して藻場の維持・増大を図るとともに、姫島村は、これまでの検討結果を踏まえ、新たな藻場造成礁の設置を行う。

【2. 養殖業の振興】

(車えび養殖)

- ・姫島車えび養殖株式会社は、引き続き、水産研究・教育機構、県水産研究部、県東部振興局等の指導協力のもと、車えびの疾病対策を実施することにより、養殖経営の安定化を図る。

ゴカイ養殖を推進し、自社で必要な餌料を生産できる体制を構築する。

(藻類養殖)

- ・大分県漁協姫島支店は、引き続き、ワカメ、ヒトエグサ(あおさ)養殖を推進する。

(その他の新規養殖)

- ・漁業者は、これまでの視察や検討結果を踏まえて新規養殖に着手する。

【3. 共同出荷の強化】

- ・大分県漁協姫島支店は、南浦地区における新たに整備された共同出荷施設(活魚水槽、製氷施設)において出荷魚の付加価値向上を図る。併せて、販売力及び共同出荷体制の強化を図る。

【4. 加工の推進】

- ・大分県漁協姫島支店は、引き続き、観光業者、加工業者、商工会からの協力を得ながら、新商品の開発・販促活動を行う。

- ・大分県漁協姫島支店は、加工施設を積極的に利用し加工品売上額の増加を図る。また、姫島村は加工施設及び関連施設の機能強化を行うとともに、引き続き、ふるさと納税返礼品の水産加工品に新たに追加する水産加工品を検討・開発し、開発次第、順次これを加える。

【5. 施設の機能強化】

- ・大分県漁協姫島支店は、北浦地区の給油施設を南浦地区へ集約することを検討・実施する。

- ・姫島村は、各浦漁港にて浮棧橋等の修繕と適切な管理を行い、安全性の確保と漁業活動の円滑化を図る。

- ・北浦漁港、西浦漁港で補修工事を実施する。

2. 中核的担い手の育成の取組

- ・大分県漁協姫島支店及び姫島村は、引き続き、都市部にて開催される漁業就業支援フェアに積極的に参加し、動画も活用して、Iターンも含めた新規漁業就業者の確保に努める。

- ・大分県漁協姫島支店は、引き続き、長・短期の漁業研修を実施し、新規就業者の漁業への定着を図るとともに、姫島村及び大分県は就業時の着業支援を行

	<p>う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県漁協姫島支店は、引き続き、新規就業者、中核的担い手を育成するため、燃費向上のため減速航行や、省エネ機器及び漁船の導入に対する支援等を行い、収入向上・コスト削減に向けた取組を推進する。
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン実証事業（広域浜プラン緊急対策事業） 効率的な操業体制の確立支援（広域浜プラン緊急対策事業） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業 水産業競争力強化緊急施設整備事業 水産業競争力強化漁港機能増進事業 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（浜の担い手漁船リース緊急事業） 水産業競争力強化金融支援事業 離島漁業再生支援交付金事業 漁場生産力・水産多面的機能強化対策支援事業 水産基盤整備事業 漁業経営セーフティネット構築事業 漁業人材育成総合支援事業</p>

(5) 関係機関との連携

上記の取組は、必要に応じて、水産研究・教育機構、県水産研究部、県東部振興局その他関係機関との一体的な連携のもと実施する。

(6) 他産業との連携

加工品開発に関する取組については、姫島村内の加工業・商業・観光業との一体的な連携のもと実施する。

4 成果目標

(1) 成果目標の考え方

- 施設整備による水産物の単価向上
 - ・温度管理可能な活魚水槽を整備し、製氷機を導入することで、水産物の鮮度や品質の向上を図るとともに、県漁協姫島支店の共同出荷体制を強化することとしているため、地域水産物の単価向上を成果目標とする。
- 加工品売上額
 - ・加工施設を活用して、加工商品の製造・開発による付加価値向上、更なるブランド化・販路拡大を図ることとしているため、姫島産水産物の加工品売上額を成果目標とする。
- 新規漁業就業者の確保
 - ・漁業就業支援フェア等を通じて新規就業者を確保するとともに、大分県青年漁業士育成講座に新規漁業就業者を積極的に受講させる等の取組を行うことで、中核的な担い手の育成へとつなげることとしているため、新規就業者数を成果目標とする。

(2) 成果目標

① 機能再編・地域活性化の取組に係る成果目標

水産物の単価向上	基準年	令和6年度： 漁協取り扱い平均単価 995 (円/kg)
	目標年	令和12年度： 漁協取り扱い平均単価 1,095 (円/kg)
加工品売上額	基準年	令和6年度： 179,506 (千円)
	目標年	令和12年度： 197,457 (千円)

② 中核的担い手の育成の取組に係る成果目標

新規就業者の確保	基準年	令和6年度： 1 (人/年)
	目標年	令和8年度～令和12年度： 累計10人 (2人/年)

(3) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>○水産物の単価向上</p> <p>【基準年】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 県漁協姫島支店の令和6年度の漁業生産額433百万円で、令和6年度の漁獲量合計が435,154kgであった。これより、平均単価が995円/kgとなる。 <p>【目標年】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 夏場クルマエビ等の出荷の際、水温を下げるため海水氷を投入しているが、人手もかかり適切な温度管理が十分でないため、温度管理可能な水槽を整備し、さらに製氷施設を整備することで、水産物の鮮度向上と品質向上を図り、5カ年で単価を10%向上させることを目標とした。
<p>○加工品売上額</p> <p>【基準年】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 令和6年度の加工品売上額（大分県漁協姫島支店及び姫島車えび養殖株式会社による加工品売上額の合計額） <p>【目標年】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 現在の施設を活用して水産物の高鮮度化と加工により新製品を開発し、姫島村のふるさと納税の返礼品として活用することで加工品売上額を5カ年で10%以上の増加を目標とした。
<p>○新規漁業就業者の確保</p> <p>【基準年】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 令和6年度の新規漁業就業者数（1名） <p>【目標年】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 毎年、Uターン者1名、Iターン者1名、計2名以上確保し、5カ年で10名確保することを目標とした。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生広域プランとの関係性
広域浜プラン実証調査 (広域浜プラン緊急対策事業)	浜の活力広域浜プランに基づく実証的な取り組みを実施する。
効率的な操業体制の確立支援(広域浜プラン緊急対策事業)	操業コスト削減のため、統一的な航行規制や船底状態等の改善を図る。
競争力強化型機器等導入緊急対策事業	生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入を支援する。
水産業競争力強化緊急施設整備事業	クルマエビ種苗生産施設の整備等、競争力強化のために必要となる施設を整備する。
水産業競争力強化漁港機能増進事業	漁業活動の基盤となる漁港施設の機能を維持することで、漁港施設の増進及び地域水産業の競争力強化を図る。
水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業(浜の担い手漁船リース緊急事業)	中古漁船又は新造漁船の導入を支援する。
水産業競争力強化金融支援事業	漁船の建造・取得・改修、漁業用機器等の導入に係る負担軽減を図る(融資)。
離島漁業再生支援交付金事業	漁場の生産力の向上のための種苗放流等を実施する。
漁場生産力・水産多面的機能強化対策支援事業	藻場の保全のための活動(岩盤清掃、ウニ類の除去等)を実施する。
水産基盤整備事業	漁場(魚礁・増殖場)及び漁港整備を行う。
漁業経営セーフティネット構築事業	燃油価格高騰への備えとして、資金を積み立て、価格高騰における影響を緩和し、経営の安定化を図る。
漁業人材育成総合支援事業	Iターン者を対象とした長期研修等を実施する。